



日本地質学会関東支部シンポジウム

地球から読み取る未来

- かけがえのない地質遺産からみえるもの -

主催 日本地質学会 関東支部
 特別協力 独立行政法人 国立科学博物館

変動帯に位置するわが国は、多様な地質現象の記録が大地に残されています。これらの記録は地球の歴史を正しく理解する上でも、人類の未来を考える上でも貴重な資料です。本シンポジウムでは、これらの記録を“地質遺産”と位置づけ、現在国際的に展開されつつあるジオパーク運動の紹介を含め、活用方法や問題点などを考えて行きます。多数のご参加をお待ちしております。

日時 2005年10月16日(日) 13:00 ~ 16:30
 場所 国立科学博物館 上野新館 3階講義室
 〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
 JR山手線 上野駅下車 公園口より徒歩約5分



国立科学博物館
へのマップ

参加費 : 無料
 定員 : 60名
 事前申込みはありません。
 当日ご来場下さい。



埼玉県指定記念物 秩父盆地 犬木の不整合

プログラム

- 13:00-13:10 開会挨拶 中山 俊雄(東京都土木技術研究所, 日本地質学会関東支部)
- 13:10-13:50 次世代のために地質遺産を守る - 日本のジオパークのとりくみ -
 岩松 暉(特定非営利活動法人 地質情報整備・活用機構)
- 13:50-14:30 観光資源としての地質遺産(富士・箱根地域を例に)
 高橋 正樹(日本大学)
- 14:30-14:40 - - - - - (休憩) - - - - -
- 14:40-15:20 地学教育からみた地質遺産
 府川 宗雄(元東京都立千歳高等学校)
- 15:20-16:00 “地質遺産”博物館における普及活動(仮題)
 平田 大二(神奈川県立生命の星・地球博物館)
- 16:00-16:30 総合討議

お問合せ先
 関東支部幹事 笠間友博(神奈川県立生命の星・地球博物館)
 電話 : 0465-21-1515 FAX : 0465-23-8846

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-15 井桁ビル6F 日本地質学会事務局内
 日本地質学会関東支部 電話 : 03-5823-1150 FAX : 03-5823-1156